

2015年7月30日  
株式会社はとバス  
ユーシーカード株式会社

～訪日外国人向けサービス～

## 「多通貨決済サービス（DCC）」の取扱いを開始

2015年7月、観光バスをはじめとした各種事業へ導入済

株式会社はとバス（以下、はとバス／本社：東京都大田区／代表取締役社長：中村 靖）は、みずほフィナンシャルグループの一員であるユーシーカード株式会社（以下、UCカード／本社：東京都港区／代表取締役社長：樋口 一成）と提携し、海外のカードホルダーがカード決済時に自国通貨を選択できる「多通貨決済サービス（DCC：Dynamic Currency Conversion）」の取扱いを開始いたしました。

はとバスは、訪日外国人の方にさらに認知され、利用されるよう、インバウンド対応に力を注いでおります。従前より、英語ガイドや中国語ガイドが同行するバスツアーを提供する他、料金支払いの際に銀聯カードを取り扱えるようにする等、訪日外国人向けのサービスを充実させてまいりました。このようなサービス展開のもと、2014年度の東京観光における、はとバスの訪日外国人向けコース利用者は、前年比123%となる8万人超えを達成し、順調に増え続けております。また、東京オリンピック・パラリンピック開催（2020年）決定、ビザの大幅緩和、消費税免税制度の拡充、円安傾向等の好影響を受け、訪日外国人数は今後更に増える見込まれます。

こうした背景のもと、はとバスは、都内・近郊定期観光バス等の旅行業、銀座キャピタルホテルの宿泊等のホテル業において、DCC決済を導入し、より一層訪日外国人の利便性向上を図ることといたしました。

UCカードは2009年に日本で初めてDCCビジネスに参入し、国内DCCアクワイアラとして最大の30種類の通貨対応、また、日本で唯一となる2ndプロセッサの採用により、複数種類の端末を供給できる体制を整え、業界を先導しています。さらに、機能面にとどまらず、外国人向けのサービスガイドを複数言語で作成する等、加盟店さまにとっても、カードホルダーの方にとっても、DCCが使いやすいものになるよう、長年のノウハウを活かし、常にサービス向上に取り組んでおります。

## ■導入済店舗

- ・はとバス  
東京営業所 / 新宿営業所 / 池袋営業所 / 浜松町総合センター
- ・銀座キャピタルホテル  
本館 / 新館

## ■DCC とは

DCC とは、海外でカード決済を行った際、「現地通貨」と「カードホルダーの自国通貨」の内、どちらで決済するかを選択できるサービスです。通常、訪日外国人のお客さまが自国（海外）で発行されたクレジットカードを日本で利用する場合、ご利用時には円建てで決済します。その後、カード発行会社が定める為替レートにて自国通貨へ換算された決済額がお客さまに通知され、利用額を支払います。DCC に対応したクレジットカード決済端末を使用すると、カードご利用時に自国通貨での支払金額がお客さまへ提示され、通常通りの円建て決済と、自国通貨決済の内、どちらかを選択できるようになります。自国通貨決済を選んだ場合、為替レートの変動リスクを心配することなく、安心して決済いただけることが特徴です。

《はとバスにおける、DCC の取扱い通貨》（29 通貨）

|             |              |               |
|-------------|--------------|---------------|
| アメリカ合衆国（ドル） | 欧州連合（ユーロ）    | オーストラリア（ドル）   |
| 台湾（ドル）      | 香港（ドル）       | シンガポール（ドル）    |
| タイ（バーツ）     | 韓国（ドル）       | 中国（人民元）       |
| マカオ（パタカ）    | マレーシア（リンギット） | フィリピン（ペソ）     |
| インドネシア（ルピア） | ベトナム（ドン）     | インド（ルピー）      |
| スリランカ（ルピー）  | カナダ（ドル）      | アルゼンチン（ペソ）    |
| ブラジル（リアル）   | イギリス（ポンド）    | スイス（フラン）      |
| デンマーク（クローネ） | ノルウェー（クローネ）  | スウェーデン（クローナ）  |
| ロシア（ルーブル）   | サウジアラビア（リヤル） | UAE（ディルハム）    |
| カタール（リヤル）   | ニュージーランド（ドル） | 南アフリカ共和国（ランド） |

※韓国は米ドル建てで為替対応を行います